

## 平成二三年度

### 福岡女子大学第五九回卒業証書・学位記 及び大学院第十八回学位記授与式 式辞

本日、ここに集われて いる平成二三年度学部卒業生および大学院修士・博士課程修了者の学生の皆さん、ご卒業及び修了おめでとうござい ます。福岡女子大学で教育を受け、自己研鑽され、福岡女子大学の学生として誇りを持つて晴 れて社会に巣立たれる皆さんを前にして、私は この集団の偉大なるエネルギーを感じると共 に、すがすがしい気持ちになつています。また、 公務ご多用にもかかわらず卒業式・修了式にご 臨席賜りました添島浩福岡県総務部私学学事 振興局長を始め、ご来賓の方に福岡女子大学を 代表して、厚く御礼申し上げます。

この目出たい学位記授与式を始める前に、ま ず、昨年三月十一日の東日本大震災・津波被 害・福島原発大災害について話をさせていた

だきたいと思います。これら未曾有の大震災から早くも一年以上経ちましたが、今なお復旧・復興が進まず、精神的にも限界かと被災者の方々にお見舞い申し上げます。今回の東日本大震災では、被害に遭われた方々の強い絆と互いに助け合うという賢明な行動と忍耐で、日本人の誇りを世界に示すことができたことは、日本の将来に明かりを灯したと信じています。三月十一日の大震災をきっかけとして、私達の生活の仕方や考え方、あるいは政治・経済の有り方、日本の将来等、ありとあらゆる事が一変したようになります。日常生活はどうあるべきか、社会の仕組みはどうあるべきか、日本の政治・経済はどの様に変わるべきか、世界での日本の存在感を如何に發揮すべきか、私達個人として、地方行政組織として、また、日本の国としても一度考えてみることが大切です。復興のロードマップさえ描けない現状に対して、被災の方にこれ以上の忍耐をお願いする勇気もありませんし、どの様に変化・改善すべきかの答え

を持つていない私自身に非常に無常感を感じています。

日本に於ける「卒業式」の英単語として、“Graduation”がありますが、この単語には「卒業式」という以外に「等級付け・格付け」という意味も含まれています。それ故、二十才代前半の若い皆さんが、社会に巣立つ言葉として“Graduation”はふさわしいとは思えません。米国の大学の卒業式で一般に使われる

“Commencement”の方が、社会という荒波の海へ出発する皆さんに、ぴったりする単語と思えるのです。皆さんが福岡女子大学で教育を受け、学部卒業あるいは修士修了という到達点に達せられたのも、学生の皆さん各自の努力の賜であることは勿論ですが、経済面から精神面まで支えていた「家族の愛情あるいは力強い支援と、大学で教育・研究を指導していただいた教職員の支援を忘れてはなりません。皆さんは若さがあるが故に、何事も全て自分で

できるという自信を持つのは良いことですが、この素晴らしい日を迎えたのは、大学生活を支えていただいている皆さんの中の多くの人々の支援と協力のお蔭であり、その方達への感謝を忘れてはなりません。

学部課程四年間あるいはさらに大学院で身に付けた専門性とは何でしょう。学部四年間あるいは修士二年間では学部・学科さらに研究科で各々異なる専門性を修得することは勿論ですが、それ以上に、学術的基礎知識の蓄積と身の周りで経験する全てに、自分自身の意見を持つという思考プロセスの確立が皆さんに求められていました。独創性や創造性を真に自分のものにするためには、常日頃から身の周りに起きた自然の変化、地域社会の移り変わりや日常的に起ころる政治、経済の動向に常に关心を持ち、これらの変化、動向をじっくり観察あるいは考察し、自分独自の意見即ち個性を持つ訓練や習慣が必要です。自分独自の考え、個性

の蓄積が各人の独創性となり、独創性の拡がりが創造性へと発展していくのです。また、文系、理系に關係なく科学する心には独創性・創造性は勿論ですが、感性や直感も不可欠であり、これらは生まれた時から各自に備わっているのではなく、皆さんが努力して身に付けるものと私は信じています。感性や直感の涵養は皆さんの身の周りに起こる自然現象の変化や日常生活の変化に驚き、感動することから始まります。科学における大発見は論理的思考や研究の積み重ねだけで生まれるものでなく、そこには不連續性と非直線的な論理の飛躍が必要となります。それ故に、科学の進展には感性や直感が不可欠となるのです。AINシュタインは、「知識よりイマジネーションが大切だ、サイエンスに関しては」と言っていますし、カーボンナノチューブを発見した飯島澄男さんは「確実な技術を身につける。それにより偶然を捕らえる確率を増すこと」と言っています。彼らは、自分の経験から直感や偶然性を捕らえる感性を研

く」とが科学の飛躍的発展と発見に如何に不可欠かを言つてゐるのです。「地上に立つて、られる」とは何て不思議なことだらう」と言った電磁気学者の Michael Faraday や「確かに何があるはずだ」と言つたノーベル物理学賞とノーベル化学賞を受賞した Marie Curie らは、私達がこの当たり前と思うことを感性と直感をもつて真剣に考へているのです。文系・理系に關係なくこれから先、皆さんがどのような職業に就かれるにしても、自分自身の感性や直感を身に付ける訓練をし、それを独創性・創造性に結びつける努力をしてください。

狭い地球上で人間として尊厳を守り、各人が互いに尊敬して生きていこう」と、さらに文化の伝承や科学の進歩など、今後の世界の状態は、全て皆さん若い人達の努力にかかるつているのです。生活を豊かに、心を豊かに、人間性豊かな世界にするためには、全てプラス思考で世界を変えることができるのは、若い皆さんの真摯

で慎重な考え方と行動です。

社会に出られても、福岡女子大学で学び身に付けたことと福岡女子大学の伝統を生かし、皆さんその後に続く後輩達への良き道しるべとなる様活躍して下さい。そのためには、身心共に健康であることが不可欠です。人間としての愛をもち羽ばたく鳥の様に、大空に向かって活躍されることを願つて、式辞と致します。

「創造性豊かな人間に」

平成二四年三月二二三日

福岡女子大学 理事長・学長

梶山千里